

令和2年度 第4回 五泉市地域公共交通活性化協議会

日時：令和3年3月18日(木)
10時00分～

場所：五泉市福祉会館3階 大会議室

議事次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 令和2年度 ふれあいバスの利用状況
- (2) 令和2年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況
- (3) 令和3年度 事業の実施計画(案)
- (4) 令和3年度 予算(案)
- (5) 令和3年度 10月以降のふれあいバス運行ダイヤ
- (6) その他

4 その他

- (1) 令和元年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価

5 閉会

【配布資料】

- ◇議事次第 ◇委員名簿 当日配付 ◇配席図 当日配付
◇令和3年五泉市公共交通時刻表 当日配付

【議事資料】

- | | | |
|------|------------------------------|-----------------------------------|
| 資料1. | ふれあいバス・ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移 | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料2. | 令和2年度 ふれあいバス利用状況 | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料3. | 令和2年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」利用状況 | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料4. | 令和3年度 事業実施計画(案) | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料5. | 令和3年度 予算(案) | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料6. | 令和3年度 10月以降のふれあいバス時刻表 | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |
| 資料7. | 令和元年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価 | <input type="checkbox"/> 事前配布(同封) |

令和2年度 第4回 五泉市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

【敬称略】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	代表取締役社長	こだ さとる 古田 哲	
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部企画室	室長	みつもと かずひこ 三本 和彦	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関塚 政行	
6	公益社団法人 新潟県バス協会	専務理事	たかはし せいきち 高橋 清吉	欠席
7	みどりハイヤー株式会社	代表取締役社長	のざき かずひさ 野崎 和久	
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	せき ひであき 関 秀明	
9	五泉市都市整備課	課長	つかの かずや 塚野 一也	
10	新潟県五泉警察署	署長	かけがみ しげゆき 掛神 茂幸	
11	五泉市老人クラブ連合会	会長	おぐま こういちろう 小熊 弘一郎	
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	巢本小 PTA 会長	いしだ たけし 石田 丈	
13	長岡技術科学大学	教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長
14	国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課	課長	ささき りんたろう 佐々木 凜太郎	

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	おおた たかひろ 大田 尊博	
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	局長兼部長	わたなべ ひるひで 渡辺 博英	
17	新潟市秋葉区地域総務課	課長	こまた ひろし 古俣 浩	欠席
18	加茂市福祉事務所	所長	ふじた かずお 藤田 和夫	
19	阿賀野市総務課	課長補佐	たかはし まさと 高橋 正人	代理出席: すぎやま さとる 杉山 悟
20	五泉商工会議所	専務理事	いわき よしお 岩城 良雄	監査員
21	村松商工会	事務局長	おちあい のぶゆき 落合 信行	監査員
22	五泉市商工観光課	課長	はやし ひろゆき 林 浩之	
23	五泉市社会福祉協議会	会長	よこやま しんぞう 横山 信藏	
24	五泉市健康福祉課	課長	わたなべ あきら 渡辺 彰	
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	運営委員	さかい たけあき 酒井 健明	欠席
26	五泉市高齢福祉課	課長	はやし まなぶ 林 学	代理出席: ほくり けいこ 祝 桂子
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	いとう じゅんこ 伊藤 順子	

【事務局】 五泉市企画政策課

■議事録

開会 10:00	
司会 (佐久間課長)	<p>定刻になりましたので、五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。それでは、次第に基づき進めさせていただきます。はじめに伊藤会長よりごあいさつをお願いします。</p>
伊藤会長	<p>おはようございます。本日はご多用の中、ご出席をいただきまして、大変ありがとうございました。</p> <p>日ごろより関係各位皆様より多大なる、ご理解とご指導を承っておりますことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げる次第であります。ありがとうございました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、第2回、第3回の活性化協議会につきましては、書面協議をお願いしたところでありますが、ご協力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>この新型コロナウイルス感染症で大変多くの方がお亡くなりになりました。心よりお悔やみ申し上げ、また多くの方が県内もとより全国で感染症に感染、発症されたということで、心よりお見舞い申し上げ1日も早いですね、回復を願うところでございます。五泉市もこの2~3日、初めて乳幼児の方が感染されまして、今日もその子どもの濃厚接触といいますが、新聞報道で保育園という「こぼと」ということで発表させていただきました。</p> <p>不安を与えないですね、市民のみなさんから冷静な対応をしていただくということで園名を発表しましてですね、今日その関係者がPCR検査を受けているということで、その結果が明日になるわけではあります、広がらないよう願うところでございます。</p> <p>それぞれの皆様の職場また関係機関などに置かしてもですね、コロナウイルス対策に万全をきしていただくようお願い申し上げます。</p> <p>さて、平成22年10月のふれあいバスと乗合タクシーさくら号運行開始以来、委員の皆様には多大なるご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。</p> <p>おかげをもちまして、地域に密着した移動手段として定着し、市民にとって大切な公共交通として順調に運行しているところであります。</p> <p>しかしながら先ほど申し上げました新型コロナウイルス感染症拡大により、外出を控える人が多くいたことから、バスやタクシーなど交通事業者の皆様におかれましては大変な御苦勞をなされたこととっております。そのほか飲食、観光など様々な分野におかれましても多大な影響を受けたこととっております。</p> <p>公共交通も同様で、利用者が減少しているという状況でありますので、1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束が望まれるところであります。</p> <p>本市におきましては、市民に喜ばれる「憩いの場」と「賑わいの場」を創出する交流拠点複合施設『ラポルテ五泉』が、本年秋の供用開始を目指し、工事が順調に進んでおります。また、五泉市街地の渋滞を解消し、歩行者や緊急車両の</p>

	<p>安全安心な交通確保が期待される東南環状線につきましても、令和6年度の開通を目指して事業が進められております。このようなハード面の変化や、公共交通の利用者から寄せられる多くの要望にどのように対応していくか、適切な地域公共交通の在り方の検討と実現が重要な課題と考えておるところでございます。</p> <p>本日は、令和2年度のふれあいバス及びさくら号の利用状況、ならびに令和3年度の実施計画・予算案などが主な議題となっております。</p> <p>それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様方から、幅広い視点でご協議いただき、忌憚のない意見を出し合いながら進めていきたいと考えておりますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。以上であります。ありがとうございました。</p>
司会 (佐久間課長)	<p>それでは、協議会規約に従いまして、以降の進行は会長にお願いします。</p>
伊藤会長	<p>それではしばらくの間、ご指名でありますので議事の進行をさせていただきます。議事の進行、ご協力をよろしくお願い申し上げます。議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規定により、「会議の成立は委員の過半数」となっておりますが、委員の出席数を事務局から報告願います。</p>
事務局 (林主事)	<p>委員27名中、只今の出席は22名となります。</p>
伊藤会長	<p>はい、今ほど事務局から27名中22名の出席との報告がありました。この会議は成立しております。</p> <p>傍聴者の予定はないですね。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>「(1)令和2年度ふれあいバス利用状況」及び「(2)令和2年度ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況」について、議題としまして事務局から説明に入ります。</p>
事務局 (林主事)	<p>資料1をご覧ください。「ふれあいバス・ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用の推移」となっております。ページの上半分の青い部分がふれあいバスについて、下半分のピンク色の部分が乗合タクシー「さくら号」について、それぞれを表しております。また、左側の表の各上段が年間利用者数を、下段が年間運賃収入となっております。</p> <p>なお、令和2年度の見込みの算出方法につきましては、2月の実績値に対して、コロナの影響がない、おとし2月と3月の比率を乗じて見込を求めています。</p> <p>右の各利用者数のグラフを見ますと、ふれあいバスが約13,000人の減少で前年度比約88パーセント、さくら号が600人の減少で、前年度比約99%となる見込みとなっております。</p> <p>続きまして、資料2をご覧ください。こちらは令和3年2月末現在でのふれあいバスの利用状況でございます。上段の表では月別利用者数が、下段の表では</p>

平均利用者数が記載されております。下の1日の平均利用者数のグラフを見ても分かる通り、ふれあいバスは8月や2月・3月の利用者が少なくなる傾向がございます。これは利用者のうち、通学で利用する学生の割合が大きいためであります。令和2年度では新型コロナウイルス感染予防対策により4月から5月にかけて学校が休校したため、その間の利用者数は最大で前年度比約50パーセントまで減少しました。6月以降は学校再開に伴い利用者数は回復したものの、いずれの月も前年度を下回る結果となりました。

その他にも、11月にはコロナウィルスの第三波が世間的に騒がれたことにより微減し、1月についても前年までの小雪に対して今年は大雪だったことが影響し減少したものと考えられます。

続いて裏面及びその次のページをご覧ください。こちらバス停別利用状況でございます。年4回、季節ごとに実施している乗降調査のデータからバス停別の利用状況をグラフに表したものです。この乗降調査は年4回の各回において1週間を調査期間とし、その期間内、全ての便の、乗り降りした人の数、場所等を調査・集計しております。交通結節点である五泉駅や村松駅、また、高校の最寄のバス停である五泉高校前や学校町一丁目、その他、今泉や五泉市役所、さくらアリーナ前なども各種理由から乗り降りが多く行われております。なお、昨年新設したバス停で五泉中央病院については乗降者数がそれぞれ40人前後であり、昨年までかわりといったらあれですけど、あった南部郷総合病院の100人前後と比較すると少ない人数となっております。

では次、裏面の方をご覧ください。こちらふれあいバスにおける収入でございます。前年同月比を見ますと、利用者数と同様に4月～5月を中心にほとんどの月で前年度を下回っております。前年度比約89パーセント程度となる見込みです。

次のページをご覧ください。こちら先ほど追加で配布しました、ふれあいバスの便別利用者数の集計表であります。各便の延べ利用者数と、1日当たりの平均利用者数を記載してあります。傾向として、平日の朝夕の便で利用が多い傾向が確認でき、通学や通勤での利用が多いことがうかがえます。また、平成30年度からの推移をみますと、朝と夕方方の便については先ほど述べた新型コロナウイルスの影響で高校生の利用が減少したものと考えられます。ですが個別の便でみますと、反時計回りの6:40便や15:48便は、部活動の休止や時間縮小の影響により利用者が集中したため、前年度より増加したものと考えられます。

バス全般の考察になりますが、この1年を通し、他の民営バスと同様にふれあいバスはコロナウィルスが大きく影響しました。利用者の動向に関する推測ですが、春先の緊急事態宣言に伴う休校措置があったにも関わらず定期券販売額に関してみると、前年度とほぼ同額であったことから、通勤・通学で利用する若年層は4月・5月を除き大きく減少しなかったものと考えられます。一方で、資料には載せてませんが現金収入は前年の約82%に落ち込んだことから、不定期で

の利用者、特に高齢者の利用が少なくなったと考えられます。そのため今後は、コロナに関するバス利用の不安払しょくの啓発が必要だと考えております。

ページをめくっていただきまして、続いてさくら号についての説明になります。

さくら号については、令和2年10月に運行内容の見直しを実施し、今まで同時に7台体制で運行していたものを1台増車の8台体制とし、あわせて朝7時便と夕方の18時半便を廃止して新たに昼の11時半便と12時便を設けました。こうした観点からも資料をご覧くださいいただけますと思います。

それでは、資料3をご覧ください。こちらはごせん乗合タクシーさくら号の利用状況であります。初めに1の利用登録者数ですが、2月末時点で合計7,908人、今年度1回でもさくら号を利用された方を表す実利用者数は1,222人となっております。2の利用登録世帯数では合計4,646世帯、その中で実利用世帯は1,054世帯となっております。

下のグラフでは実利用者数および実利用世帯数の推移を表しております。両方とも近年減少傾向にありましたが、令和2年度は減少幅が前年度比約15%と例年にも増して大きな減少がございました。さくら号を実際に利用される方の人数が減ったという結果だと考えております。

続きまして、裏面をご覧ください。3.月別利用者数でございます。上段の表では月別利用者数が、下段の表では平均利用者数が記載されております。月別利用者数の前年同月比を見ますと、4月と5月は新型コロナウイルスによる学校の休校や外出自粛の影響により、約70パーセント程度まで減少しました。6月移行は月にもよりますが100パーセントを上回る月が多くなっており、年間トータルで前年度と同程度となる見込みとなっております。

次のページをご覧ください。5.年代別利用者でございます。こちらは2月末までの延べ利用者数を利用時の年代別にグラフにしたものです。いずれの年度も約7割が60代以上の高齢者層の利用が占めておりますが、60代以上の利用者数については前年度よりも減少しております。一方で40代を除く若年層の利用者数は前年度よりも増加しております。

地区ごとに差はあるものの、若年層の利用は施設への通所、通勤、学童保育利用等により、特定の目的で利用する方が多く、1人当たりの利用回数は多い傾向にあります。一方、高齢者の利用は、買い物や通院などの日常的な利用が多く、1人当たりの利用回数は比較的少ない傾向にあります。

続いて6.乗降場所の傾向です。黄色が乗った場所を、青が降りた場所を示しております。福祉施設での乗降と、医療機関での降車、スーパー・商店での乗車が多い傾向にあります。なお、資料には記載していませんが福祉施設は2年前から各年500人以上乗降者数が増えている増加傾向にあります。また、公共施設での乗車も前年度より800人程増えており、教育施設は乗車数が500人程、降車数は1,200人程増えております。一方で企業での乗降数はそれぞれ500人程度減少しました。

続いて裏面をご覧ください。7.時間帯別利用状況であります。今年は10月に7時便・18時半便の廃止と11時半便・12時便を新設したため、実数ではなく1日の平均利用者数でグラフを作成しました。郊外発では8時から11時便の利用者が多く、市街地発では12時30分便にピークがあります。午前中の便でおでかけされ、12時30分便で帰宅される方が多いことが伺えます。午後も郊外発の15時便と16時便の利用者が多く、市街地発の16時半便で帰宅される傾向があります。なお、新設した市街地発11時半便は一定の利用がありますが、郊外発の12時半便の利用者数が少ない状況となっております。

次に、その下8. お断り件数の状況です。4月から5月はコロナの影響で利用者数が減っていたことに伴いお断り件数も例年に比べて減少しました。6月から9月は平年と同程度かやや低く推移しましたが、10月以降は運行の見直しを行ったためか、例年より少ない結果となりました。また、今年度より計測を始めた「実お断り件数」について説明します。先ほどお話ししましたお断り件数は、「第一希望」や「第二希望」等の希望に沿えなかった全ての件数になります。例えていうと同じ人でも「第一希望」が取れなかったら1件、「第二希望」もダメだったら2件・・・というように集計しております。今回始めた実お断り件数は、その後のやり取りで、最終的に予約を入れることが出来た人は含まず、予約を断念した人のみを集計したものとなっております。その結果、グラフのところで点線で示しておりますが1か月あたり約50件程度、1日あたり2件程度であることが分かりました。

次のページをご覧ください。9. 収入であります。4月と5月はコロナによる利用者数減により収入も落ち込みましたが、その後は概ね前年と同程度か高く推移しております。1月については雪の影響で少なくなったと考えられます。年間トータルで3.4パーセント程前年度を下回る見込みとなっております。

なお、収入内訳を見ますと、例年に引き続き、現金収入が減り、回数券販売額が伸びているという状況になっております。

さくら号についてこれまでを踏まえ、全般的な考察となります。4月～5月の利用者・収入は減りましたが、その後は概ね前年度並みもしくはそれ以上の実績となりました。しかし、実利用者数は前年度を大きく下回る結果となっております。これは利用者の年代別集計やお断り件数等から、バスと同様にコロナに対する不安から高齢者層の利用が減少した一方で、定期利用する若年層の利用が増えたため、全体としては前年並みになったものと考えられます。そのため、バス同様に特に高齢者の利用者に対しての不安払しょくが必要になると考えられます。

また、前年度より少なかったお断り件数についても、運行内容の見直しを行いました。その一方で高齢者のような不定期利用者数が減ったため、若年層のような定期利用者と相互にバッティングする頻度が減ったことがお断り件数減少の要因とも考えられます。そのあたり見極めるため、その後もお断り件数につい

	<p>てはモニタリングを継続し、運行内容見直しの効果を検証していく必要があるかと考えております。</p> <p>以上でふれあいバス・さくら号の利用状況について説明を終わります。よろしくお願いたします。</p>
伊藤会長	<p>はい。ただいまの利用状況につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>それでは、「令和元年度ふれあいバス事業報告」、「令和元年度ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告」につきましては、報告ということでご了解いただきます。</p> <p>それでは次に「(3)令和元年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について」を議題とし事務局の説明を求めます。</p>
佐野委員	<p>最後の年代別の利用状況で若年層が増えてる理由が分かれば教えていただけますか。</p>
事務局 (林主事)	<p>若年層については特に福祉施設だとか職場への交通利用の手段として使っている方が多く、特にこの4月からですが、定期利用するほぼ1日1回使うような方が何人か増えたということが直接的な原因となっております。</p>
伊藤会長	<p>他にございませんか。</p>
佐々木委員	<p>国土交通省の佐々木でございます。ご説明ありがとうございます。</p> <p>詳細にデータを出していただいております、口頭で補足いただいているかと思うんですけど、口頭で補足いただいた分も含めて資料に書いていただけると事前に読めるのかなと思っておりますので、是非ご検討いただければと思います。</p> <p>あとは質問ではないのですが、いろいろデータをみていますと、例えばこのバスの方のバス停ふれあいバス資料2の裏ですね、いろんな自治体のデータを見て特徴的だったことをご紹介させていただきますとですね、先ほど高校の近くにあるというのは五泉高校前というのと学校町一丁目というふうにおっしゃってましたが、学校町一丁目も高校ですか？</p>
事務局 (林主事)	<p>高校です。</p>
佐々木委員	<p>高校ですか。その五泉高校前バス停と学校町一丁目バス停って乗降者数も違いますよね。でこぼこになってますよね。これどっちが一般的でしょうってのが、若干クイズみたいなもんですけど、学校町一丁目の方が一般的な動きなんですね。何でかっていうと学校って行きは時間がだいたい共通しているので行きはバスを利用するんだけど帰りは部活があってなかなか合わなかったりするし、バスもそんなに遅い時間までやってないっていうので乗らないっていうような傾向があって、結構この学校町一丁目の傾向を示すようなところが結構多いなという印象なんですけども、一方で五泉高校場合、逆にあって、これ学校利用以外もあるのかなど一なのかなって思っています。</p>

	<p>逆に学校利用でこれぐらいになってるとしたら、うまく部活で終わった人とかも取り込めてるのでしょうし、あるいは別の目的地もあるみたいなところだと観見していただくといいのかなあという風に思っていますし、逆にこの五泉高校がこういうふうのできてるのであれば、学校町一丁目というところも、まあもう少しこのぼこぼこをならすような工夫ができるのかなと思ってます。あとは五泉高校前が起終点になっているので、例えば乗り継ぎとかですね、そういった事情もあるのかもしれないんですけど、同じ学校のところなんですけどもちょっと違う傾向にあるところは面白いかなと思いましたのでコメントをさせていただきました。他にもいろいろありますけれどもここでご紹介してもしかたないと思いますので一つご参考までに。</p>
伊藤会長	他にございませんか。
佐野委員	<p>乗降箇所ランキングの福祉施設とか医療機関とかそれ別でまとめた資料なんですけども、医療機関の場合は降車が多くて乗車が少ない。帰る時間はなかなか分からないで予約できないとか、ご家族の同意が得られてないとか、逆にスーパーは降車が少なく乗車が多いって、ちょっとどういうことかなあと思って... 教えてもらいたいなと。あともう少し予約を柔軟にして医療機関の乗車を増やすみたいな事は難しいんでしょうか。</p>
事務局 (林主事)	<p>まず医療機関とスーパーの乗降調査の差のことなんですけど、よくある傾向としまして午前もしくは午後の早い時間にお医者さんに先に行きまして、その後横移動として一般タクシーを使って、そのお医者さんからスーパーに行きます。スーパーで買い物をした後にさくら号でご自宅に帰るという乗客が結構いらっしゃいます。おそらくその傾向が数字として表れたものと考えております。</p> <p>医療機関に対しての柔軟な予約とのことですけど確かに医療機関、数字で示されてる通り利用される方が多いんですが、いまのところ特別何かというところは検討しておりません。</p> <p>ただ利用される方の傾向としまして、医療機関も事前予約制が増えてきたものもありますので、さくら号は一週間前から予約を開始しているのですが、利用者の方から予約ができる日になったらすぐに電話をして予約をとるという傾向にございます。</p>
佐野委員	<p>ただでも帰りは結構あいてるんですよね？</p> <p>帰りというか病院から乗るのは結構あいてるんですよね。</p>
事務局 (林主事)	<p>そうですね。行く時間は結構みなさん重複する関係もあるので混雑はしております。帰り特に午後だとか午前の遅い時間になると比較的空いてる傾向にはございます。</p>
佐野委員	<p>ニーズとしてはある程度あるはずなので、何かしら工夫していただきたいなと思います。</p>
事務局 (林主事)	<p>はい。おっしゃられた意見は今後も利用改善、利便性の向上という観点で検討していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
伊藤会長	他にございませんか。

	<p>質疑なし</p> <p>それでは、「令和2年度ふれあいバスの利用状況」ならびに「令和2年度ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況」につきましては、報告ということでご了解いただきます。</p> <p>それでは次に「(3)令和3年度 事業の実施計画案」について事務局より説明願います。</p>
事務局 (林主事)	<p>それでは「令和3年度 事業の実施計画案」について、説明申し上げます。</p> <p>お配りした資料の資料4をご覧ください。</p> <p>1、ふれあいバス運行についてであります。運行形態は、道路運送法第4条による一般乗合運行(定時定路線型)を継続いたします。運行日・運行ダイヤも、現行と同じく年末年始を除き毎日運行といたします。また、他の公共交通機関との連携を考慮した運行ダイヤを設定し、利用者の利便を図ってまいります。運賃につきましては、中学生以上1回200円、小学生100円、未就学児無料と、今までと同じように運賃を設定していく予定でございます。</p> <p>続いて裏面をご覧ください。運行車両でございます。今年度までは中型車両1台、小型車両2台の計3台を五泉市から五泉市乗合バス協議会へ貸与し、運行を行っていますが、次年度からは新型コロナウイルス対策の密の回避の観点から、小型車両2台を新しく購入する中型車両に切り替えて運行を行います。なお、新しい中型車両については来週3月26日に納車予定となっております。ので4月1日以降このまま運行に使いたいと考えております。運行車両内にはコロナウィルス対策として、運転席と客席の間にビニールの仕切りを設置し、車両前方にはオゾン発生装置を設置しました。同時に運行事業者の協力により、入り口付近に消毒液を設置していただいております。また、利用状況等を把握するため、例年どおり乗降調査を季節ごとに年4回、各回1週間連続で全ての便で実施する予定となっております。合わせて今回購入する中型車両につきまして、新しく乗降カウンターを設置し、日常的に乗降人数の計測を行いつつ、各バス停の発着時間を記録する計画としております。</p> <p>続きまして、ラポルテ五泉への乗入れ対応についてであります。ラポルテ五泉が令和3年10月に開館することに合わせて、ふれあいバスの施設乗入を実施いたします。詳細は、議題(5)「令和3年度 ふれあいバスの運行ダイヤ」で説明いたします。</p> <p>今回、ご提示した案を承認いただけた場合、この案を基に運輸局への各種行政手続きや音声案内の作成、令和4補助年度の幹線系統補助計画の作成を進めてまいりたいと考えております。また、利用者への周知は8月下旬から9月上旬までの間に行う予定としております。新しい時刻表はふれあいバスのみを記載したものを9月10日号の広報と合わせて全戸配布予定としております。また、村松地区からのアクセス方法を示したチラシなどを作成し、関係施設に設置することで村松地区からの施設利用促進を図る予定としております。</p>

	<p>また、あわせて従来乗降調査の結果で、バスの運行時刻表と実際の到着時刻に5分以上の乖離が頻繁に生じている便について、時間の見直しを行い、運行時間を長くすることでバスの定時性を確保し、利便性向上を図りたいと考えております。</p> <p>これらは10月以降の運行開始後も、利用者や現場運転手の意見や乗降状況の計測結果を基に、適宜見直しをかけ引き続き利便性向上に努めていきたいと考えております。その際は、皆様にも報告や協議をお願いしていきたいと考えております。</p> <p>次に2. ごせん乗合タクシーさくら号運行についてです。運行形態は、道路運送法第4条による区域乗合運行を継続いたします。利用方法は事前予約制とし、予約受付・配車は、ごせん乗合タクシーさくら号受付センターが行います。運行エリアは、市内を五泉東・五泉西・村松の3つの基本エリアに区分けし、2か所の共通エリアを設けます。運行日は月曜日から土曜日までとし、休日・お盆・年末年始は運休といたします。</p> <p>続いて運賃ですが、中学生以上1回300円、小学生1回150円、未就学児は無料とし、今までと同様の運賃とさせていただきます。</p> <p>また、今年度新型コロナ対策事業として、運行事業者に対し車両設備整備補助事業を実施し、さくら号車両に運転席との仕切り板を設置していただいたり、ジャンボ車両にはオゾン発生装置を設置していただいたりしました。その他、運行事業者様の協力により消毒液の設置などもしていただいております。</p> <p>次に裏面をご覧ください。3. 公共交通利用促進事業であります。五泉市公共交通時刻表の作成ということで、市内を運行する公共交通を網羅した総合パンフレットを作成いたします。パンフレットは、ページ数を4ページ増やし、パークアンドライドの紹介を掲載したり、利用の仕方を絵を用いて分かり易く載せるなどを試みたいと考えております。また、引き続き点字の総合パンフレット作成・配布を実施いたします。</p> <p>地域住民、利用者へのPR活動としまして、通学での利用が多いふれあいバスにつきましては、市内高校の新入生に向けた周知・PRを行ってまいります。さくら号につきましては、高齢者を重点対象とした、利用促進のPR活動を継続・強化のうえ行ってまいります。市内の公共施設・医療機関・観光案内所等へ総合パンフレットを配布し、公共交通利用について市内外へ広く周知を行ってまいります。また、広報ごせんや市のHPを利用し、ふれあいバスやさくら号の利用方法や運行実績、時刻表や運行概要を掲載のうえ、PRと情報提供を行ってまいります。以上になります。</p>
伊藤会長	ただいまの「事業の実施計画案」について、質疑等ございますでしょうか。
古田委員	一点質問なんですけれども、ふれあいバスの乗降調査のところで、ご説明の資料にもありますけれども乗降カウンターこれ人数とそれから発着時刻を集計、計測するということなんですけれどもこの2点だけのデータという形で何か機械を設

	<p>置してという形なんではないでしょうか。それとも時刻が分かるというのは将来的には位置情報がわかってお客様にスマホかなんかでバスが今何処にいますよと展開できるようなシステムの基になっているのかどうかそこだけお聞かせいただければと思います。</p>
事務局 (林主事)	<p>はい。今回設置する乗降カウンターにつきましては、乗降人数の計測を目的としたものでシステムそのものにGPSみたいな機能はついておりません。ただ設置事業者に確認したところ、オプションとして将来的にGPSなども付け加えてバスの位置情報などをインターネット上とかに提供するというのも可能とのことです。ですのでまた今後の利用状況、社会情勢なども踏まえ検討していきたいと考えております。</p>
伊藤会長	<p>ほかにございますか？</p> <p>質疑なし</p> <p>ないようです。それでは「(3)令和3年度 事業の実施計画案」につきましてはご承認いただける方、拍手をお願いいたします。</p> <p>拍手</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>拍手多数でございまして「(3)令和3年度 事業の実施計画案」につきましては承認されました。</p> <p>次に、「(4)令和3年度 予算案」、「(5)令和3年度 10月以降のふれあいバス運行ダイヤ」についてを議題といたしまして、事務局から説明があります。</p>
事務局 (風間補佐)	<p>それでは、(4)「令和3年度予算案」についてご説明いたします。</p> <p>資料5をご覧ください。まず、歳入からご説明をいたします。</p> <p>1款の負担金ですが、歳入の2款 繰越金と3款 雑入の合計から歳出総額を差し引いて不足となる額を五泉市が負担金として協議会にお支払いするもので、前年度と比較して117万円減の6,368万5千円となっております。</p> <p>2款 繰越金は、令和2年度からの繰越金で、前年同額の200万円を見込んでおります。</p> <p>3款 諸収入ですが、ふれあいバスの運賃収入につきましては利用者の減少が主な要因ですが、令和2年度の実績から見まして200万円減の1,500万円、乗合タクシーさくら号の運賃収入につきましては、1台増車したことによる今後の伸びを見込みまして100万円増の1,500万円を見込んでおります。国県補助金収入につきましては、1,163万4千円を見込んでおります。内訳といたしましては、ふれあいバスの補助金が、すみませんこちらに記載ありませんが、ふれあいバスの補助金が約60万円減の587万6千円、さくら号の補助金は昨年、網形成計画を策定したことによりまして約130万円増の575万8千円をそれぞれ見込んでおります。</p> <p>合わせまして、歳入合計は前年度対比148万3千円減の1億0,731万9千円を計上したところであります。</p>

次に、歳出をご説明いたします。

1 款 運営費、1 項 会議費につきましては、前年度対比 7 千円の減で、こちらは事務経費の見直しということで本日もそうでありますが、会議用の水代を削減したものであります。

2 項 事務費は、前年同額の 8 万 2 千円を見込んでおります。こちらは旅費、消耗品、振込手数料などの経費であります。

次に 2 款 事業費につきましては、前年度より 147 万 5 千円減の 1 億 0,714 万 9 千円の予算額となりました。主には委託料でございますが、ふれあいバスの運行は乗合バス協議会様、さくら号の運行はハイタク協議会様、さくら号受付センターの運営は社会福祉協議会様に委託をしております。令和 2 年 10 月に実施したさくら号の増車分を 1 年分見込んだことや、令和 3 年 10 月から実施予定のラポルテ五泉への乗入れにより人件費等が増額とはなりますが、燃料費がいまのところ低下していることや、ふれあいバス 2 台をこのたび買い替えるために修繕費を低く見込んだ結果、委託料全体としては前年度と同程度となっております。その他、システム及び機器使用料、システム保守等委託料につきましては、今年度実施したシステムの更改により減額となっております。また、利用促進事業といたしまして、例年作成しております公共交通時刻表は、パークアンドライド啓発等のために先ほども説明ありましたが、ページ数が増となるため前年度より僅かに増額となります。これらを足し引きした結果、前年度より減額となりました。

3 款 諸支出金につきましては、0 円。

4 款 予備費につきましては、1 万円としております。

合わせまして、歳入同額の 1 億 0,731 万 9 千円を計上したところであります。

令和 3 年度の協議会予算案については、以上でございます。

次に、(5)「令和 3 年度 10 月以降のふれあいバス運行ダイヤ」についてご説明をいたします。

先ほど、実施計画案でも触れましたが、10 月にオープン予定のラポルテ五泉へふれあいバスの乗入れを実施するため、時刻表を変更する必要があります。この機会に、これまで課題となっておりました定時性確保のため、運行時間全体を見直したいと考えております。

資料 6-1 をご覧ください。

まず、定時性確保に関する見直しにつきましては、過去 3 年間の乗降調査の結果から平均 5 分以上の遅れのある便を対象に、交通センサスの移動速度を参考としながら、便ごとにバス停間の移動時間を見直しました。その結果、見直し対象の便は数分程度ですが運行時間が長くなっております。見直しにあたりましては、JR との接続機会を極力維持することで利便性が損なわれないようにいたしました。また、便と便の接続時間を見直し、運転手の休憩時間や、直前の便が遅延した場合の時間を確保しております。

次に、ラポルテ五泉への乗入れについてですが、資料 6-2 のバスルート案を

	<p>ご覧ください。</p> <p>ラポルテ五泉に乗入れる便は朝・昼・夕方に1便ずつ、計6便を設定しました。これらの便は全てラポルテ五泉を発着地とし、ラポルテ五泉に到着した便がそのまま次の便でラポルテ五泉から出発をするというかたちです。出発までのバス待機場所につきましては、現在のところ東公園の駐車場を検討しております。また、基本的にラポルテ五泉発着の便は五泉高校前を経由しませんが、赤で示した16:15発反時計回りの便につきましては高校生の利用、帰宅の部分ですが多いため、五泉高校前を経由することとします。また、この便は五泉中央病院前の道路を通りますが、これまでどおり病院への乗入れはしない形で設定しております。</p> <p>乗入れに関わる便の時刻表は、先ほどの資料6-1を参照いただきたいと思います。一番上と一番下にそれぞれラポルテ五泉と表示があり、そこに時刻が入っている便が今ほどご説明いたしました6便になります。</p> <p>なお、今回の運行ルートや時刻表作成にあたっては、ふれあいバス運行事業者と協議済みであることを申し添えておきます。</p> <p>説明は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	ただいまの説明に、質疑等はございませんでしょうか。
佐野委員	歳出の事業費に5項目ありますけども内訳を教えてください。
事務局 (風間補佐)	<p>今ほどの質問ですが、まずあのバスの運行にかかる部分は4,756万円です。デマンドタクシーの運行費につきましては、運行の委託料としましては予算としては4,524万5千円。それから受付センターへの委託料は874万9千円。その他システムの賃借料とか保守委託料が、だいたい270万円くらいでしょうか。</p> <p>あと利用促進事業ということで時刻表を作成したり、点字の部分も含めてですが、およそ117万円というような内訳となっております。</p>
佐野委員	ありがとうございます。バスの方もさくら号の方もだいたい同じくらいの収支率ということで運営されているのですね。
伊藤会長	<p>他にございませんか？</p> <p>質疑なし</p> <p>ないようなのでそれでは、「令和3年度 予算案」と「令和3年度 10月以降のふれあいバス運行ダイヤ」につきまして、ご承認いただける方、拍手をお願いします。</p> <p>拍手</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>「令和3年度 予算案」と「令和3年度 10月以降のふれあいバス運行ダイヤ」につきましては承認ということで次に進まさせていただきます。</p> <p>これで議事は一応終わりですが、その他であります。</p> <p>その他の「(1)令和元年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価」について、事務局の説明願います。</p>

<p>事務局 (林主事)</p>	<p>それでは「令和元年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価」について、ご説明申し上げます。</p> <p>資料7をご覧ください。</p> <p>国の補助対象事業である「さくら号の運行事業」については、より効果的・効率的に推進することを目的として、事業の実施状況や目標達成状況を評価することが当協議会には求められております。それをふまえ、先の12月25日付けで、委員の皆様へ書面協議をお願いいたしまして、ご承認いただいた事業評価を国へ報告させていただきました。</p> <p>その報告に対し、北陸信越運輸局が2月26日付けで行った二次評価が届きましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>まず、②の事業概要欄の五泉東エリアと村松エリアでございます。このエリアは、事業実施の適切性は A としましたが、輸送人員の目標値である前年度比100%を達成できなかったことから、理由を記載の上、⑤目標達成状況をそれぞれ C 評価とし、今後の改善点として、「新型コロナによる利用者の不安払しょくや、見直した運行内容の効率的な運用」とさせていただきます。</p> <p>五泉西エリアは、④欄の事業実施の適切性・⑤欄の目標達成状況ともA評価としました。⑥欄の事業の今後の改善点では、今後の改善点として、「新型コロナによる利用者の不安払しょくや、見直した運行内容の効率的な運用に努めるとともに、利用者数を維持するために利用促進や利便性向上に努める。」とさせていただきます。</p> <p>なお、詳細についてはお読みとりいただきたいと思います。</p> <p>以上の当協議会が行った事業評価に対し、北陸信越運輸局からは、全てのエリアの③・④に対し「当協議会における事業評価結果については、自己評価のとおりである。改善策の実施については地域一体となって進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。」という二次評価をいただきました。また、目標を達成できなかった五泉東エリアと村松エリアの⑤・⑥については、「新型コロナウイルスの影響以外の観点からも目標を達成できなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある」との評価をいただきましたので、今後検証してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、当協議会が行った事業評価につきましては、一般に公表することが求められております。今回の事業評価については、2月4日付で市HPにて公表を行いましたことを申し添えます。二次評価に関する報告は以上です。</p>
<p>伊藤会長</p>	<p>この件につきましてご質疑ございますか。</p> <p>質疑なし</p> <p>ないようであります。</p> <p>それでは、このほか事務局におきまして連絡事項等があればお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。2点ほどお願いいたします。</p>

<p>(風間補佐)</p>	<p>まず1点目。6月25日に開催をいたしました今年度第1回の活性化協議会の中で連絡事項としてお話をしましたが、国の補助金を活用してバス車両の購入ということで現在の小型車両2台を令和3年度と4年度の事業で更新を予定しておりますという話をさせていただきましたが、今年度の先ほども説明があった通り、新型コロナウイルス対応臨時交付金をもちまして、中型車両2台に更新をすることから、その小型バスも国の補助金を利用した事業の必要性がなくなりましたので、皆様にはご説明させていただきましたが、その購入は取り止めることといたしました。残る中型車両1台につきましては、当初の予定どおり令和5年度事業で購入をして、令和6年度までに運行に使用したいと考えておるところであります。</p> <p>それから2点目であります。毎年作成しております、ふれあいバスとさくら号の時刻表の配布について、ご説明させていただきます。</p> <p>机上にも皆様の方にお配りさせていただきましたが、毎年、年度末に時刻表を作成し市内全戸に配布しております。内容的には昨年10月のさくら号運行時刻、8月に改正した加茂市営市民バスの内容を変更しております。また、6ページには、村松地区からさくら号とふれあいバスを利用して五泉地区へ向かう方法を掲載いたしました。</p> <p>ふれあいバスの時刻表につきましては、今回3月のJRダイヤ改正は1・2分程度の動きで、ふれあいバスへの大きな影響はありませんでした。また、先ほどご説明いたしました10月の時刻表改正を予定しておりますので、今回ふれあいバスの時間の見直しは行っておりません。</p> <p>ただデンカ様からのご依頼により、今までデンカ生研前バス停となっておりますところを「デンカ鏡田工場前」に変更しております。</p> <p>作成した時刻表は3月25日に「広報ごせん」と一緒に配布できるよう準備をしております。</p> <p>また、平成28年3月から、目の不自由な方向けとして、点字の時刻表も作成しておりますが、こちらも現在準備中でございます。</p> <p>事務局からの連絡事項は以上です。</p>
<p>伊藤会長</p>	<p>はい。全体を通しまして委員の皆様からなにかご意見等ございましたら、願いたいと思います。</p> <p>質疑無し</p> <p>はい。ないようでございます。</p> <p>全ての議事の進行が終わりました。大変貴重なご意見、ご指導いただきました。それでは議事進行をおろさせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。事務局にマイクを戻します。</p>
<p>司会 (佐久間課長)</p>	<p>長時間にわたりましてご審議をいただきまして、ありがとうございました。また貴重なご意見をいただきまして、また今後の参考にさせていただきたいと思っております。</p>

	以上をもちまして令和2年度の第4回目の協議会を終了いたします。ご協力、大変ありがとうございました。
--	---

閉会 11:03
